



2023年2月22日

各位

会社名 プロパティエージェント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中西 聖  
(コード番号 3464、東証プライム)  
問合せ先 取締役 CFO 岩瀬晃二  
(TEL. 03-6302-3627)

## 2023年3月期第3四半期決算に関するQ&A

2023年2月7日に公表した当社の2023年3月期第3四半期決算に関しまして、公表以降に株主様、投資家様などの方々から頂戴したお問合わせ、感想につきまして、その内容と回答を以下の通りお知らせいたします。

なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであります。決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算説明資料をご覧ください。

Q1. DX不動産事業、DX推進事業が堅調、好調とのことですが、今回の通期業績予想の上方修正が各段階利益にとどまり、売上高が据え置きとなった理由を教えてください。

A1. DX不動産事業、DX推進事業ともに、期初に想定していた以上に好調な売上状況となっております。加えて、各種コスト削減の効果が大きく、利益面では期初計画を大幅に上回る状況となっております。これを受け、DX不動産事業においては、今期の業績達成、上振れを目指すことに加え、より来期以降の拡大を見据えた戦略に変更しております。そのため、売上高の通期計画は、据え置きとしております。

Q2. DX不動産事業について、前年同期比ベースで大きく伸長していますが、投資用マンションの来期に向けた展望や市況感、御社の取り組みを教えてください。

A2. 不動産市況については、金利動向を注視する動きはある一方、様々な環境要因や当社の「Rimple」を利用した不動産投資型クラウドファンディングの募集状況を鑑みても、投資家の需要は引き続き堅調な状況が続いていくものと認識しております。来期についても、引き続き魅力ある施策を随時検討、実施し、事業の成長を目指して参ります。

Q3. 棚卸資産が約100億円まで増加しておりますが、来期の販売にどうつながりますか。

A3. 不動産市場は強いニーズ、相場が続いており、来期の販売に向け在庫の積み上げを行っております。市況として、見通しが不透明な部分もありますが、来期以降も投資家需要は引き続き堅調なものと予想しております。引き続き高い需要に対応すべく、投資用・居住用

ともに販売を強化して参ります。

Q4. DX推進事業について、売上高は順調に増加していますが、「FreeiD」は現状、赤字となっているなど利益率があまり良くないように見えます。来期以降の成長スピードについて教えてください。

A4. 「FreeiD」の導入は、社内計画を上回るスピードで順調に進捗しております。また、実際に「FreeiD」の導入されたマンションの入居者からも高い満足度を得ています。今後、顔認証システムの利便性や汎用性などを幅広く認識していただき、知名度を高めていくことで加速度的に成長していく分野であると考えております。順調な進捗を背景に、導入先やソリューション数も拡大しており、来期以降の更なる売上高の拡大を目指しております。

Q5. 「AVANT」や「BERNERS」が順調に伸び、また、在籍エンジニア数の伸びも大きい状況ですが、今後もエンジニア人材を増やしていけますか。

A5. 今後、よりエンジニア数を伸ばすために、即戦力人材だけでなく、今期すでにエンジニアを育てるための体制を整備いたしました。来期以降は、この体制を生かし、より多くの人材獲得、育成を進められると考えております。

<ご参考>

- ・2023年3月期第3四半期 決算短信〔日本基準〕(連結) 2023年2月7日公表
- ・2023年3月期第3四半期 決算説明資料 2023年2月7日公表

以上

<免責事項>

- ・本資料は、当社の企業説明、決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は、2023年2月7日公表の2023年3月期第3四半期決算の内容に関して頂戴したお問合せ、感想などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点における当社の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。